

別記様式

議 事 録

会議の名称	令和2年度第1回岩倉市男女共同参画基本計画推進委員会
開催日時	令和2年7月13日(月)午後1時30分から4時まで
開催場所	岩倉市生涯学習センター 研修室1
出席者 (欠席委員・説明者)	出席委員：日置委員、杉浦委員、千村委員、村平委員、 水越委員、山田委員、濱田委員、小川委員 伊藤委員(秘書企画課長)、富委員(福祉課長)、 原委員(健康課長)、神山委員(商工農政課長)、 石川委員(学校教育課長) 欠席委員：関戸委員、小笠原委員 事務局：中村総務部長、小松協働安全課長、須藤統括主査、 桑野主事、大嶋主事
会議の議題(協議事項)	(1) 岩倉市男女共同参画基本計画の進捗状況について 【資料4】 (2) 次期岩倉市男女共同参画基本計画策定に係るアンケートについて
議事録の作成方法	<input checked="" type="checkbox"/> 要点筆記 <input type="checkbox"/> 全文記録 <input type="checkbox"/> その他
記載内容の確認方法	<input checked="" type="checkbox"/> 会議の委員長の確認を得ている <input type="checkbox"/> 出席した委員全員の確認を得ている <input type="checkbox"/> その他()
会議に提出された資料の名称	【資料1】岩倉市男女共同参画基本計画推進委員会委員名簿 【資料2】岩倉市男女共同参画基本計画推進委員会条例 【資料3】岩倉市男女共同参画基本計画(2021~2030)策定スケジュール 【資料4】2020年度男女共同参画基本計画 改訂版2017~2020進捗状況質疑一覧 【参考資料1】岩倉市男女共同参画基本計画成果指標一覧表 【事前資料】・岩倉市男女共同参画基本計画 改訂版2017~2020 ・岩倉市男女共同参画基本計画 改訂版2017~2020進捗状況報告書2020 ・男女共同参画に関する市民意識調査(案)
公開・非公開の別	<input checked="" type="checkbox"/> 公開 <input type="checkbox"/> 非公開
傍聴者数	なし
その他の事項	議事録作成者 桑野

審議内容（発言者、発言内容、審議経過、結論等）

1 あいさつ

総務部長よりあいさつ

2 自己紹介

委員及び事務局より自己紹介

3 委員長及び副委員長の選出

委員の互選により、委員長に日置委員、副委員長に杉浦委員を選出。

4 今後の委員会の開催スケジュール

【資料3】を用いて事務局より説明。

- 委員 行政推進会議と作業部会の位置づけはどうなっているのか。
- 事務局 行政推進会議は要綱に基づき設置されており、行政内部における計画の推進、施策の調査・研究を行っていくものです。作業部会については、委員会に属し、次期計画の詳細を検討していくものとなります。
- 委員長 部会には何人ほどの委員が参加するのか。
- 事務局 作業部会について、まだ明確に運営方法を決めていませんが、協議する計画の分野に係る委員の方に参加していただけたらと考えております。また、スケジュールでは作業部会2回とお示ししておりますが、計画策定の進捗によっては、増えることもあります。
- 委員長 作業部会には委員長、副委員長も参加するのか。また、委員数も多くないので、複数の部会に分けて作業部会を開催するのも併せて近日中に示してもらいたい。
- 委員 作業部会の開催スケジュールがかなりタイトになっているが大丈夫なのか。
- 事務局 計画の策定支援業務を委託しておりますので、計画の素案を委員へお示しし、それをもって、作業部会で検討を進めていくこととなります。
- 委員 委託業者が委員会に参加していないが、どのように委員会の意見を計画に反映していくのか。
- 事務局 委託業務の中に、委員会への参加は含まれておらず、議事録等をもとに、委託業者と打ち合わせを行い、委員会で出た意見を計画に反映させていきます。
- 委員 今年度は、計画の策定を行うとのことだが、来年度は委員会として何を行っていくのか。
- 事務局 委員会の所掌事項として、計画の策定と評価があります。今年度は、どちらも実施しますが、来年度は計画に基づき実施された施策の評価を行っていただきます。
- 委員 昨年度まであった懇話会はどうなったのか。
- 事務局 懇話会は昨年度でなくなり、今年度からは条例に基づくこの委員会で計画の策定、

評価等を行っていきます。

5 協議事項

(1) 岩倉市男女共同参画基本計画の進捗状況について

【資料4】を用いて、各委員からの質問事項及びそれに対する担当課の回答について、取り組む施策ごとに検証した。以下、議論のあった設問についてのみ記述する。

1-1-(2)

委員 全市的なスラックスの導入の有無が分かりづらいが。

委員 全市的なスラックスの導入については、実施していない。現在、全市的なスラックスの導入についての要望はないため、個別の要望に対して、スラックスの導入を認めている。ただ、自分の意思を表明ができず、個別の要望としても拾い上げられていないものもあると考えられるので、全市的な対応について要望は出てきていないが検討をしていく必要はあると考えている。

委員長 個別でスラックスの着用を要望することは、生徒に大きな負担を強いる事となるので、学校単位でもいいので検討していただけたらと思う。

1-2-(1)

委員 オンライン開催については検討しているのか。

事務局 まだ仕組みが整っていないので、具体的なオンライン開催の検討には至っていないと思います。担当課としても、仕組みが整い、オンラインで開催できる講座があれば、開催する方向で検討することとなると思います。

委員 具体的に検討がされていない理由にはどのようなことがあるのか。

事務局 市役所の全体の業務としては、オンライン会議やリモートワークの導入についての検討をしているところですので、今後、オンラインでの講座の開催についても検討されていくこととなると思います。

1-3-(3)

委員長 訪問は実施していないということか。

委員 訪問は実施しています。ただ、軽微なケースに関しては電話対応としています。また、訪問の際には、マスクを着用し、ソーシャルディスタンスを保つよう努めています。

1-4-(1)

委員 生涯学習講座の申込について本当に性別欄が必要なのか疑問に思うが。

事務局 統一的な対応ではありませんが、アンケート調査では可能な限り性別を記入してもらいたいです。一方、利用者のニーズ把握のためだけであれば必須とする必要はないと考えます。しかし、性別の記載が必要な物には理由があると思いますので、本日はいただいた意見を担当課に伝えさせていただきます。

1-4-(3)

委員 国際交流協会では、ボランティアにより日本語教室を開催している。コロナ禍で三密を避けて日本語教室を実施しているが、ボランティアだけでは限界があるので、市からの支援をお願いしたい。

また、子どもたちの話では、日本語が分からないから特別支援学級に入れられるといった話も聞くが、岩倉市ではどのような対応をしているのか。

事務局 日本語教室の開催のためにフェイスシールドを提供することは難しく、市としてできる支援を実施していくこととなりますので、国際交流協会と一緒に考えていけたらと思います。

委員 日本語が分からなく意思疎通が図れないのか、障がいがあるから意思疎通が図れないのかを判断することは難しい。ただ、岩倉市では、東小学校を拠点校として、1～2か月の間、学校生活適応指導を行っているため、日本語が分からないことを理由として、特別支援学級に入れることはない。

委員 日本語教室の開催について、方法の抜本的な見直しは検討していないのか。

事務局 現在は検討しておりませんが、国際交流協会の皆様と協議を行い、抜本的な見直しが必要なのか精査していきたいと思います。

2-2-(1)

委員 介護認定の度合いの審査が厳しいと感じるのだが、本当に必要な人が必要なサービスを受けることができているのか。

事務局 介護認定に関しては、認定審査会で判断されているものになります。介護認定の度合いが低いことを理由に、別のサービスを提供することは難しいと考えますが、そのような意見があったことは担当課に伝えさせていただきます。

2-3-(5)

委員 男の料理教室について、テレワークなど働き方が大きく変わり、参加者も変化してくると思うが、どのように対応していくのか。

委員 今年度も男性向けの栄養教室を開催する予定だったが、新型コロナウイルスの影響で開催することができなかった。こういった中で、ホームページを介して、栄養や調理に関する情報を提供することを考えている。

委員長 男の料理教室はいつ開催しているのか。

委員 平日の日中に開催しており、勤めている人は仕事を休む必要があるため、65歳以上の参加者の割合が大きくなっていると思う。

2-4-(1)

委員 成果指標を一人親世帯の年間相談件数としているが、適切ではないのではないかと。

事務局 次期計画策定の際には、改めて検討していきたいと思います。

3-3-(1)

委員 中小企業のワーク・ライフ・バランスの取組みについて把握することは難しいか。

委員 把握することは難しいと考える。また、大企業では組織として働き方改革に取り組むが、中小規模でワーク・ライフ・バランスまで考え仕事に取り組む企業は多くない

のではないかと考える。

4-2-(2)

委員 25年前の調査でも区長は男性、子ども会の役員は女性が大半を占めていたが、これは今でも変わっていないか。

事務局 今年度に関しては、女性の区長は0人となっています。行政区の役員不足が深刻化しており、市としては、女性の役員登用も含め行政区に話をしているところではありますが、男性の区役員が多い状況にあります。市としても引き続き、女性役員の登用に向け、啓発を行っていきます。

委員 PTAの役員については、昨年度も今年度も女性の会長が2名いる。

委員 今回、この委員会に出席して初めてPTAの会長が男性でなくてもいいという事を知った。必ずしも男性である必要はないと思うので、正しい情報を周知してもらえたらと思う。

(2) 次期岩倉市男女共同参画基本計画策定に関するアンケートについて

【事前資料：男女共同参画に関する市民意識調査（案）】を用いて、事務局より説明。

委員 アンケートの内容や資料の作成について、委託しているとのことだが、内容に事務局の思いがあまり見えないのが気になるのだが。

事務局 委員会の意見については、事務局を通して、委託業者に伝えていきます。今回お示ししたアンケートの案については、たたき台として、委託業者が作成したもので、委員会で意見をいただき、より良いものにしたいと考えております。

委員 委託業者が作成したこのアンケートからは、どれだけ市が主体性、思いをもっているのかが分からず、不安になる。

事務局 現在の計画の改訂を実施する際に、男女共同参画に関する業務について生涯学習課から協働推進課に所管課が変わり、今回が初めて計画を策定することとなるため、専門的な知識もいただきながらよりよい計画を策定したいとの思いで業務を委託しております。

委員 アンケート内容が、画一的なものとなっており、岩倉市民に本当に聞きたい内容になっていない。今回の内容では、女性が職業を持つことについてどのように考えるかなど、表面上の質問となっているが、前回の調査では希望する職業形態などより深掘した質問を行っており、今回もそのような質問をしていただけたらと思う。

また、生涯を通じた生活についての質問があるが、男女共同参画に関してのアンケートにしては総花的になっているので、的を絞った質問にしなくては回答する意欲もなくなってしまうのではないか。

委員 アンケート結果をどのように計画策定に反映するのかが見えてこない。アンケートの実施にコストも発生するので、目的がないのであれば実施する必要もないのではないか。基本理念も変える予定であるのであれば、アンケートの自由記述欄に書い

てもらふ事もいいのではないか。

委員長 業務を委託する場合は、画一的な内容となる可能性が高いので、市としてどのようにしたいのかという思いを伝える必要がある。計画は過去、現在だけではなく、岩倉市としてどのような未来としたいかの方針を示すものとなるので、アンケートも岩倉らしい適した設問としていただけたらと思う。

委員 25年前のアンケートのデータは残っているのか。

委員 データは、生涯学習課の前身となる社会教育課が所有していた。

委員 次期計画の策定に際して、基本目標などは変更するのか。

事務局 25年前のアンケートに関しましては、アンケート用紙を皆様に送付させていただいた際に、委員からの指摘により初めて存在を知ったものとなります。今回、提示しておりますアンケート用紙は、25年前のアンケート内容を踏まえたものとはなっておりませんので、改めて内容を検討し、その結果を受けて、基本理念、基本目標の変更も検討していきたいと思えます。

委員長 今回、アンケート内容が大きく変わるような指摘もあるが、もう一度委員会を開催するのか。

事務局 本日、委員の皆様からご意見をいただき、岩倉としてどのような課題があるかは把握すべきものだと考えますので、市民がどのような考えを持っているかを把握できる質問を追加し、再度、素案を作成します。作成後、皆様に送付させていただきますので、改めてご意見をいただけたらと思えます。可能な限りでスケジュールも調整いたしますので、委員の皆様のご協力をよろしくお願いいたします。

委員長 設問に「分からない」という選択肢があるものかないものがあるが、日本は先進国の中で「分からない」と選択する人の割合が多くなっている。国や県の調査と比較する設問もあると思うが、必要な物と不要な物の精査をしていただけたらと思う。

6 その他

特になし

以上